

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回スポーツ推進審議会
事務局	生涯学習部生涯学習課
開催日時	令和6年4月17日(水) 18時00分から19時30分まで
開催場所	市役所第二庁舎8階801会議室
出席者	会長 田中 幸夫 委員 副会長 本橋 玲子 委員 委員 山田 裕己 委員 服部 啓次郎 委員 檀原 延和 委員 太田 あや子 委員 三輪 美穂 委員 渡邊 恵 委員
欠席者	永井 均 委員 多田 啓子 委員
事務局	生涯学習課部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真 スポーツ振興係係長 越 元宏 スポーツ振興係主任 津田 理恵
傍聴の可否	可 一部不可 不可
傍聴者数	0
傍聴不可等の理由等	-
会議次第	1 委嘱状の交付 2 自己紹介 3 正副委員長の互選 4 会議の運営等について 5 第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認の方法について 6 令和6年度スポーツ推進審議会スケジュールについて 7 令和6年度 スポーツに係る予算について 8 スポーツ団体に対する補助金交付について 9 その他
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり
提出資料	別紙のとおり

三浦課長

では、定刻となりましたので、開会させていただきたいと思えます。委員長が決まるまで司会進行を務めさせていただきます事務局の三浦と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、多田委員と永井委員から欠席の連絡を受けてございますので、会議が始まる前に御報告をさせていただきます。

なお、今回は第2期の委員の皆様、最初の会となりますので、委嘱状を机上に配付させていただいております。お名前等を御確認いただきまして、もし誤りがありましたら事務局のほうにお申出いただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

任期につきましては、委嘱状に記載のとおり令和8年2月13日までとなっておりますので、改めて御確認をお願いいたします。

それでは、本日、第2期の委員会の初回ということでございますので、教育長から一言御挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

大熊教育長

こんばんは。第2期スポーツ推進審議会委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

今、人生100年時代を生きるということが一つの大きな目標になっているんですけども、そのときに健康寿命と言われるものがとても大事になってくると言われています。つまり、自分の体を自分の思いどおりに動かすということになるべく長くしましうと。そういうことはどうやったら実現できるかということ、日頃から体を使い、自分の体を自分の意思のように動かせるということが一つ大事なことだろうと思う次第でございます。そのためには、日常からスポーツに親しむということは今以上に広めていくことが必要だというふうに考える次第です。

その役割を担っていただくのが、皆さんの一つの仕事になるのではないかなと思います。専門性を生かして、より多くの人たちが幸せに生きられるためにどういうことをしたらいいかということをご皆さんで考えていただいて、多くの幸せを多くの市民に伝えていただければなど、広めていただければなど、そんなふうに思っています。どうかよろしくお願いいたします。

三浦課長

ありがとうございました。

それでは大変恐縮ではございますが、教育長は次の予定がござい

ますので、ここで退席をさせていただきます。ありがとうございました。

大熊教育長           すみません。よろしくお願いいたします。

三浦課長            では、会議のほうを進めてまいります。  
続きまして、本日の資料の確認をさせていただきたいと思ひます。  
事務局のほうからお願いいたします。

(配布資料の確認)

三浦課長            それでは続きまして、初めての委員会でございますので、自己紹介という形をお願いをしたいと思います。  
初めに事務局のほうから自己紹介をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。では、部長、お願いいたします。

梅原部長            生涯学習部長の梅原と申します。よろしくお願いいたします。

三浦課長            改めまして、生涯学習課長、三浦と申します。よろしくお願いいたします。

越係長              生涯学習課のスポーツ振興係の係長をしています越と申します。  
よろしくお願いいたします。

津田主任            同じくスポーツ振興係、津田と申します。よろしくお願いいたします。

三浦課長            事務局のほうは1年間、この体制でやってまいりますので、よろしくお願いいたします。  
それでは、大変恐縮でございます。委員の皆様も一言ずつ御挨拶をいただければと思ひます。  
では、田中先生、お願いします。

田中委員            座ったままでよろしいでしょうか。資料1を見ていただくと分かるんですけども、1枚目です。これはいいのかどうか分からない

んですけど、国立大学法人東京農工大学で、今回2期目ということで委員にさせていただきましたが、退職していますので、これはいいのかな。これでいいのかな。

津田主任 現在は国立大学法人東京農工大学名誉教授となっております。

田中委員 名誉教授なんですけれども、農工大学のほうでスポーツ関係の担当をしていました。また1期のほうも担当させていただきました、審議会を1回やらせていただきました。

ということで、田中幸夫といいます。よろしく願いいたします。

太田委員 すみません。ちょっと渋滞に巻き込まれて遅れました。武蔵丘短期大学の元教員の太田あや子と申します。

小平市に住んでおりますが、東京学芸大学に通っていた関係で、大学院や学生るとき、それから卒業した後いろいろな形で大学に教えに行ったりもしてしました。

埼玉県にあります非常に小さなスポーツ系の短期大学で、スポーツ系の学生を教えておりました。スポーツ計画や行政のほうに専門になりますので、短期大学のほうにあります総合型地域スポーツクラブの事務局を預かっておりますので、今日もそちらの仕事で埼玉県のほうから伺いました。

中学校の部活動の地域移行につきましても埼玉県の事業を請け負ってやっていたりすることがございますので、何か皆様のお役に立てればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

三輪委員 私は19年間小金井市に住んでいたんですけど、コロナのときにちょうどマンションが大規模改修になってしまって、振動とか音とかすごいことになっていたので、東久留米市のほうに引っ越したんです。もうそこにいようと思ったんですけど、やっぱり小金井市が恋しくて最近帰ってきてしまいまして、小金井市ラブだったんだわ私と思いまして、ちょうどこういう応募があって、自分の考えを発信するというのもいいかなと思って、応募させていただきました。よろしく願いいたします。

渡邊委員

渡邊と申します。今回、こういう会議とかというのは初めてなんですけれども、いろいろ経験させていただきたいなと思って、応募させていただきました。よろしくお願いします。

壇原委員

小学校・中学校校長会を代表して参加しております小金井市立南小学校の校長の壇原延和と申します。

私自身、結構日頃からスポーツに親しんでいて、小金井市のバドミントン連盟の大会の参加とかしているんです。それで市民大会にも結構出させていただいたりということで、親しんでいます。

また、今日は小学校の体育研究会、市の教育研究会の体育部の研究会もありまして、結構各学校の担任の先生方は活発に意見されて、コロナが終わった後、昨年度から、先生方も学校対抗のバレーボール大会だったり、バドミントン大会だったり、体育大会だったりとかをやったりしています。そういった中で学校現場だったり、校長会の代表でもあったりとか、個人的にもやっているということで、小金井市の体育館を使っていろいろと活動していますので、そういった視点も含めて、意見を伝えていきたいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

服部委員

服部啓次郎と申します。特定非営利活動法人、NPO法人の黄金井倶楽部で副理事長をさせていただいております。

御存知かどうか分かりませんが、様々なイベント等をやっております。地域の方々に運動を通してその取組を知っていただくということで、いろいろなことをしております。

昨年度も委員をしておりましたので、今年2期目ということになりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

山田委員

山田裕己といいます。小金井市体育協会のほうから参っております。一応理事をさせていただいております。

1期目では、元会長がずっと委員であったんですが、途中で退任しましたので、替わって1年ほど1期を務めまして、今回2期目ということでございます。

私は小金井市弓道連盟の会長もやっております。小金井神社の本殿の横にあります弓道場で、120名ほどの会員を擁しておりますけれども、そこで毎日練習をしているところでございます。

弓道はなかなか人気がありまして、春と秋に弓道教室を初心者対象にやっております、結構応募もあって、今度の市報のほうに出させていただいておりますが、また募集をかけております。

そういうことで、スポーツ振興に携わっております。よろしくお願いいたします。

本橋委員

本橋玲子と申します。私は小金井市スポーツ推進委員協議会から来ております。今年23年目に入って、一番長い委員だなということが、ちょうど先日、第1回の協議会があったんですけれども。この色が黒いのはテニスを30年ほどやっております、小金井市のテニス連盟のほうで日々テニスを楽しんでおります。

今回は2期目になりますけれども、まだいろいろとやることがあると思いますので、よろしくお願いいたします。

三浦課長

皆様ありがとうございました。2年間という長丁場になりますので、ぜひ楽しくやりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、正副会長の互選に進んでまいります。

会長につきましては、スポーツ推進審議会条例第5条の規定によりまして、委員の互選によって定めるものとされてございます。指名推選により行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

三浦課長

御異議なしと認めます。

どなたか御推薦いただけますでしょうか。

服部委員

会長には、やはり田中委員を推薦したいと思います。先ほどお話がありましたけれども、1回目の推進委員会、それから2回目、昨年度は委員長として、この会を引っ張っていただいたという大きな功績がございます。ぜひ今年も務めていただきたいと思います。

三浦課長

ただいま服部委員から、田中委員を委員長にと御推薦をいただきました。これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

三浦課長

御異議なしと認めます。

それでは、田中委員を委員長にすることに決しました。

これより先の議事進行につきましては、田中委員長にお願いしたいと存じます。田中先生、委員長席のほうに御移動いただきまして、一言御挨拶をお願いいたします。

田中会長

それでは、御指名をいただき、会長ということで、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

第1期ではこのような皆さんの御尽力により、小金井市スポーツ推進計画というものができましたけれども、この期からはスポーツ推進計画がどのように行われているかということ、この会で審議というか、うまく市のスポーツ推進計画が実行されていくことを見守っていく期になるのではないかなと思います。それが市民の皆さんの健康やスポーツに対する意欲が高まったりすることによって、先ほど教育長が言っていましたけれども、健康寿命が延びて、自分の人生、生活が充実するような方向にいければいいかなと思います。

皆さんの力添えがないとうまくいかないと思いますので、この期もよろしくお願ひしたいと思います。

続きましては、副会長の選出ということになりますけれども、どなたか御推薦いただければと思いますが。

服部委員

ここはやはり2期目ということで、多分1期目のことはあまり御存知ないと思いますので、私からは副会長に本橋委員を推薦したいと思います。

先ほどもお話がありましたけれども、本橋委員は長年にわたって小金井市のスポーツ振興に多大な功績がございますので、ぜひ昨年に引き続き、副会長のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

田中会長

ただいま服部委員のほうから、副会長に本橋委員をということで御推薦がありましたけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

田中会長           では、本橋委員を副会長ということでお願いしたいと思っておりますけれども、どうぞこちらへ。

                  本橋さんから一言、就任の御挨拶をお願いいたします。

本橋委員           本橋と申します。よろしく申し上げます。

                  今、田中会長のほうからもありました、2期目に入ります。なかなか大変な審議会だと思うんですけども、皆様の御協力と御指導をいただきまして、もう2年頑張りたいと思っております。よろしく申し上げます。

田中会長           それでは、次第に従いまして、議題を順次進めていきたいと思っております。

                  (3)の正副会長の互選というところまで終わりましたので、(4)の会議の運営等についてということで、皆様にも資料3が配付されていると思っておりますけれども、このことについて事務局のほうから御説明をお願いいたします。

津田主任           資料3の「会議の運営等について(案)」に従って御説明いたします。

                  まず1の(1)会議録の作成方法について確認をさせていただきたいと思っております。市民参加条例施行規則第5条に従って、一つ目が全文記録、二つ目が発言者の発言内容ごとの要点記録、三つ目が会議内容の要点記録となっておりまして、この三つのうちどれにするかを決めていただきたいと思います。事務局といたしましては、会議録については全文記録で作成したいと考えております。

                  その下の1の(2)ですが、会議録につきましては市民参加条例第7条第1号において、附属機関等の会議録を公開するよう努めなければならないと定められています。会議録については、委員の皆様にご内容を御確認いただき、確認が終わりましたらホームページに掲載するとともに、第二庁舎6階の情報公開コーナーに据置き、公開いたします。

                  続いて、その下の(3)ですが、会議録を作成するために録音をさせていただいております。御発言をいただきます際には、恐れ入りますが、最初にお名前をおっしゃっていただきますよう御協力をお願いいたします。

続いて、その下の2、会議の公開についてですが、市民参加条例第6条の規定により、市の附属機関等の会議は公開することとなっておりますので、公開と考えております。

その下の3の会議の傍聴については、小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領に従って運営をしていきたいと考えております。

続いて、4の「意見・提案シート」についてです。これは傍聴の方の御意見をお伺いするために設置するものです。資料3の裏面が実際の「意見・提案シート」となっております。今後の取扱いは、「意見・提案シート」を設置した上で、記名があるものは氏名も含めて正式資料として、無記名の場合は参考資料とさせていただきます。内容については、委員の方から審議に取り上げたいと申出があった場合は審議を行うという扱いで考えております。

提出の期日ですが、会議開催の1週間前までに届いたものについては事前配付資料として委員の皆様にお送りし、それ以降に届いたものは当日配付するという取扱いで考えております。

以上のような形で考えておりますが、いかがでしょうか。

田中会長

説明ありがとうございます。

皆様からの御意見を聞く前に一度まとめますけれども、議事録の作成は事務局としては全文記録、皆さんがおっしゃったことを全部記録し、公開するというふうになります。

それから、2番が公開しますということですね。傍聴もあります。そして「意見・提案シート」があって、名前が明記されている場合には公開の対象となり、資料とすることがある。無記名であった場合には、皆様方のほうに配付して参考資料とするというふうになっており、その内容については、この意見を取り上げたいという申出があった場合には、審議時間を設けることがあるということになります。「意見・提案シート」は、1週間前までに提出されたものについては皆さんに配付するということです。

このような提案がありましたけれども、何か御意見等がございましたら、お名前を言った上で発言をしていただければと思います。どうぞ。

服部委員

「意見・提案シート」は、傍聴された方のみ使えるという認識でよろしいですか。

津田主任 傍聴した方に資料と一緒にお配りするもので、傍聴した方がご意見を記入し提出いただけるものと考えております。

服部委員 分かりました。ありがとうございます。

田中会長 どうぞ。

山田委員 ということは、傍聴されて、その次の回までに提出されるということになりますか。その当日は駄目ですということですかね。

津田主任 当日にご提出いただいても大丈夫です。

山田委員 当日でもよろしい。そうですか。

田中会長 会議録の作成についてはよろしいですか。

要点記録とか、会議の内容の要点だけでいいのではないかというのを僕は前に提案したことがあるんですけども、なかなかお金もかかるし、大変かなとは思いますが、皆さんが全文記録でよろしいというのであれば、それでよろしいかなと思います。

御意見がなければ、事務局から提案がありましたように全文記録をとり、公開をし、「意見・提案シート」の取扱いもそのようにしたいと思います。

では、この件はこれでよろしいですね。

三浦課長 ありがとうございました。

田中会長 続きまして、(5)第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認の方法についてということで、これも事務局のほうから御説明をお願いいたします。

津田主任 第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認の方法についてです。

昨年度、第1期の審議会の皆様に審議いただきましたスポーツ推進計画の進捗確認について御報告いたします。本日、初めての

方もいらっしゃるので、全体的な概要を含めて御説明いたします。お手元の冊子、第2次小金井市スポーツ推進計画、こちらは小金井市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を定めたものです。二つ折りのA3サイズの資料がこの概要版となっています。

概要版を開いていただくと、左端のところに縦書きになっている「豊かな生涯を運動・スポーツとともに」、こちらを基本理念として三つの基本方針ごとに各種施策を実施していきます。こちらの計画期間が令和5年度から令和12年度までの8年間としており、令和5年度、つまり昨年度が最初の年に当たります。今後、毎年、前年度の進捗状況や達成度を確認していくこととなり、本年度は令和5年度の実績を確認していきます。

昨年度の審議会では、進捗確認の方法について御審議いただきました。前回まで審議会で御審議いただきました後、皆様から頂きました御意見を基に修正し、正副会長と相談、決定の上、皆様にお知らせすることとなっておりますので、先日メールにて送付させていただきましたものです。

資料4、第2次小金井市スポーツ推進計画進捗状況調査結果を御覧ください。こちらに令和5年度の実績を書いているんですが、まだまとまっていない段階なので、評価や記述が仮のものであることを御留意いただきますようお願いいたします。

表紙をおめくりいただきますようお願いいたします。第2次小金井市スポーツ推進計画進捗調査（令和5年度）の概要についてというページです。こちらは個別の評価の前に、全体をまとめたページを設けたというものです。前回の資料だと、現在の資料でいうと3番、基本方針ごとの進捗状況の概要というものに当たる部分だけだったのですが、会長からの御意見を基に、今回の資料では、3番の前に1番、2番を追加しました。ここでは調査そのものの概要を説明しています。3番についても記述を増やしています。

また、おめくりいただきまして、表が縦に三つ並んでいるページ、この表は前回の資料にもありましたが、位置を変更し、基本方針ごとの冒頭に載せていた表を一つのページにまとめて掲載したものです。

またおめくりいただきまして、基本方針1というページです。ここで一度、概要版と見比べていただきたいのですが、見開きのちょうど真ん中辺りに基本施策が羅列されています。1-1、子どもの

運動・スポーツ活動の推進、1-2、働き盛り・子育て世代の運動・スポーツ活動の推進と続いていきます。この基本施策が全部で九つありますが、この基本施策ごとに1ページとしました。

もう一回資料に戻りますと、ただいま概要版で見ていただいた一番上の基本施策1-1、子どもの運動・スポーツ活動の推進が記載されています。このページが基本施策1-1について書いているページとなります。このように基本施策ごとに1ページとなりますので、この形のページが全部で9ページあります。

1-1と書いてあるすぐ下の評価のポイントというところ、こちらには計画書本文から具体的な記述を引用、要約して記述しています。ここの記述は毎年変わらないところになります。

行ったり来たりで恐縮なのですが、再度概要版を見ていただくと、一番右のところに主な取組があります。その主な取組が、資料のグレーの網かけされた箇所です。それぞれグレーの網かけの右側のほうに四角で囲まれたアルファベットがありますが、そこに評価を入れていきます。

グレーの網かけの下にある評価の理由の欄に、毎年、評価の理由を記入していきます。ここでは、誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施、中学校運動部活動の地域移行への対応をそれぞれ評価し、さらにそれらをまとめた評価をページ右上のボックスに入れるというものになります。

なお、土曜スポーツクラブなどの人数の表は、一番下に移動しました。ほかの基本施策についても同じように作成しています。

また、変更したところなのですが、3-1についてです。一番最後の手前のページ、こちらの一番下の表に前回の審議での御意見を受けて、施設を増やしています。前回の資料では、一番下の民間施設開放のみだったのですが、その上の五つの施設を追加しました。

このような形で、今後、前の年の実績を評価していきます。令和5年度の評価は、次回の審議会以降、事務局案をお示しし、皆様に御確認していただく流れとなります。

説明は以上です。

田中会長

ありがとうございました。

大分手を入れていただいて、初めての方はちょっと分かりづらいかもしれませんが、前の評価に比べると、大分個々の評価を

きちんとするということと、前は数字が先に出てきて、土曜クラブに、極端な話50人が60になったからA評価みたいな、そんな評価だったりしたんですが、それはちょっとひどいだろうということだったので、その数字のところは下のほうを見て、実際にこういうのもありますよみたいな提示の仕方になっているかと思います。

皆様のほうから何か御意見、御質問等がありましたら、お名前を言った上で、発言をお願いしたいと思います。初めての方も、分からないところはどんどん質問していただければ、皆さんもより理解が深まると思いますので、お願いいたします。

現在評価がBとかと入っていますけれども、まだ令和5年度のデータが入っていませんので、今後こういうデータが入ってきて、この項目についてはよくできてたのか、あるいはあまりできていなかったのかというのは、今後になります。

どうぞ。

服部委員 前回のこの審議会で皆さんからいろいろ御意見を頂いて、非常に見やすくなったなど、よくなったと思います。特にこの概要版の一覧表との対応がすごくきちんととれていて、非常に分かりやすくなったなどと思います。

ただ、今の段階ではまだ仮の状況ということですがけれども、これはいつ頃までに確定させるという計画になっているのでしょうか。

津田主任 大体、市役所の中での実績が出てくるのが夏ぐらいなので、7月ぐらいに、次回の審議会で皆様にお示ししたいと考えております。

服部委員 服部です。その夏頃までにというのは、いわゆる数値目標のデータのことでしょうか。

津田主任 先ほども例に挙げた土曜スポーツクラブの実績等、各取組の実績がそろってくるのが夏ぐらいです。

服部委員 分かりました。

それと一つ御提案といいますか、この評価の理由の書き方なんですけれども、非常に昨年度こういう点はよかった、よかった点と課題だと思われる点とかいうのを分けて書いていただくと、見るほう

にも分かりやすいのではないかなと思いますので、御検討いただければと思います。

田中会長            そのほかございませんか。

檀原委員            今、服部委員からあったように、前回出たものを見比べると本当に見やすくなったなと思いました。評価も、Bでおおむね達成と出ている、服部委員と同じなんですけれども、こういう点がよかったという内容と、この点については今後の課題であるとか、今後まだ改善の余地があるとかという形が出てくると、今後の改善点がはっきりするのではないかなと思いました。

田中会長            ありがとうございます。

山田委員            皆さんがおっしゃられるように、前はちょっと数字のほうに結構重きを置いたような形になっていましたけれども、こういう文章でそれぞれの実績が書かれていて、よくなっているかなと思います。  
ほとんどBなのですが、中に一つだけCというのがある、これは例ということで、こういうC評価もあり得るよということで書かれている。今後の数字等によって、これがBに変わるということは当然あるということでよろしいですね。

三浦課長            今の御質問ですね。一つだけCというところもございまして、私も全部Bはいかなものかなという、自浄作用が働いたりしたんですね。なので、取りあえず、今のところCという項目も起こり得ますよというのはそのとおりでございます。逆に、皆さんのほうでこれはAでよろしいんじゃないかという御判断があれば、それはそれで対応することもできるということでございます。

田中会長            どうぞ。

山田委員            そうすると、Aというふうに評価するためには、やはりその評価の理由のところ、もう少し詳しくとか、こういうことをやりましたということを大きく取り上げていただくとかしていただきたいと思います。

三浦課長                    ありがとうございます。

田中会長                    そのほか何かございますでしょうか。

檀原委員                    先ほどの評価の仕方についてはお話しをさせていただいたんですけど、この評価の内容についても触れて大丈夫ですか。

学校を代表して出てきているので、この評価の過程のところではちょっと意見を言っていないときもあったんですが、最初的时候に環境改善のところ意見を申し上げたことがあったんですけども、基本方針3の運動・スポーツ環境の充実というところではその環境というところで、ここには市のいわゆる一般市民が使う施設についての評価はあるんですが、学校現場の立場としまして、中学校だったり、小学校の体育館だったり、自分の学校以外の体育館も行くんですけども、前にもお話ししたんですが、非常に環境が劣悪なんですね。ラインがほとんど消えているんですよ、小金井市の体育館、小学校も中学校も。

スポーツをやる上でラインがないというのは、もう最悪というか、安全上の問題であったり、スポーツを楽しむ根底が崩れてしまうというところで、ここはBにはなっているんですけども、小学校も中学校も結構施設開放で相当稼働率が高いんですね。そういった意味では、市のきちんとした施設だけではなくて、もちろん授業でもそうなんですが、学校としても要望を出すんですけども、なかなかその辺に手が入らないんですね。市民もいっぱい使っている施設なので、そういったところについては今後ぜひ改善を図っていただきたいなと思っています。どこの学校に行ってもラインがほとんど消えています。よろしくお願いします。

田中会長                    ありがとうございます。

私はこれを作成するときに、最初はA評価が多かったですね。A評価ということは、もう十分達成したということになっているから、ではこれはもうやらなくていいんじゃないみたいな、計画をやらなくてもいいんじゃないみたいになってしまうので、やはり現状を踏まえて、駄目なものは駄目、これからここを直すんだというほうが大切だなと意見を言って、ですから、CとかDもあると思うんです

けれども、そういうものもやはりここに盛り込んでいって、檀原先生がおっしゃったように、市のほうにこういうところが足りないよとか、そういう中でこういうところはいいところもあるんだけど、こういうところは危険だとか、そういうものをこれでアピールしていく必要があるかと思えます。

学校は学校でやっている、公共の施設は公共の施設のほうでやっている、市の持っているもの。別々にはなっていないんですね。今おっしゃったように両方使ったり、市民の人も使っている、学校も使っているというふうになると、やはり強力にプッシュしてやらないといけないかなと思うんですね。

ですから、こういうものをただ計画して、評価しましたではなくて、何のために評価したのかということが大切になると思えますので、ぜひそういう意見を盛り込んで、ラインがないのも最悪ですよ。スポーツの線がないということは、どこがアウトでどこがインか分からないという根本に関することがありますので、そういうことを把握していないかもしれない。把握していてもなかなか手が回らないというのであれば、やはりそこからやっていただくための、この計画の進捗状況であるということをおアピールしていきたいなと思えます。よろしくお願ひします。

三浦課長

私のほうの所管になりますと生涯学習施設ということになりますので、学校の施設をお借りして、生涯学習としてスポーツをやっているのはそのとおりなんですけれども、学校施設の体育館のラインのところになってくると、ちょっとファクターが違ってくるというんですか、その部分もありますので、御意見を頂きましたので、持ち帰らせていただいて、内部で共有させていただきたいと思えます。

田中会長

ぜひ、縦割りではなくて、横のほうにつないで、よろしくお願ひいたします。

三浦課長

持って帰ります。

服部委員

ちょっと個別の内容に触れるんですけども、基本方針1のところ、子どもの運動・スポーツ活動推進とあります。その中の一つ

の取組の中で、中学校運動部活動の地域移行への対応というのがございます。これは多分皆さんが非常に興味を持っている項目ではないかなと思ひまして、いろいろ評価が書かれているんですけども、これは例えば小金井市が他の市に比べて進んでいるのかあるいは遅れているのかというような視点で評価していただくというのは可能なのでしょうか。

三浦課長

学校部活動の関係についてですけども、どうしても行政のほうの視点で見ますと、会議体を設置したとか、そういう外側から分かりやすい指標で考えてしまうんですね。今、小金井市の場合ですと、その審議会を新たに設置しましたので、決して他団体に比べて遅れているという状況ではないです。

ただ、目に見えた形でどんなふうに議論が進んでいるのかという点については、各団体、今ちょっと、みんないろいろなことを考えている状況なので、なかなか定量的に、定性的に評価するのはちょっと難しいという状況です。

ですので、総じて申し上げますと、今、市民参加も含め、学校の先生方も含め、そういう専門の委員会を立ち上げましたので、その面においては他市に比べると一歩リードと思っています。ただ、具体的な議論が進んでいるかということ、そこはまだですというところがございます。

服部委員

ありがとうございます。そのようなことを書いていただいたらいいのかなと思います。

三浦課長

了解しました。ありがとうございます。

太田委員

都と県とすごく状況が違うので、一言では言えないんですけども、審議会を設置するというのは、本当に埼玉県でも、今うちでも設置しましたというのが普通のペースです。

取り組んでいるのは、全部で教育委員会関係が7、あとラグビーのチームとか大学等が関わったところが九つなので、16のところ、ほぼ16市町に関してやっているという感じなんです。まだ本当にパイロットスタディで、スポーツ庁の予算が県に下りてきてしまったので、何とかやらなきゃというのが実態ではあります。

ただ、審議会を設置したというのは、本当に遅れているわけではなくて、順当に進んでいるほうだと思っています。

田中会長           ありがとうございます。

服部委員           その取組が一般市民の方にどれくらい伝わっているのかといった視点ではいかがですか。

太田委員           私のところは、短期大学の学生と一緒に部活動をするという形で、バスケットボールとサッカーと陸上競技をお引き受けしているんですけども、小さな町なので、短大でこんなことをやっているというのは結構周知はされていて、うちのところは1町1中学なんです。一つの町に一つの中学校しかなくて、しかも30年前は1,000人いたのが、今は300人を切るみたいな状況になっているので、何であそこの町だけこうやっていい環境でやっているんだみたいな話になり、2年度目の今年は、もう少し隣の市とか連携協定を結んでいます町にも広げて活動をして、一応事例研究といいますか、実証してほしいというような話はいただいておりますので、結構広く関係者には短大の施設を使ってずるいじゃないかみたいな話にはなっているとこまではいっています。

町の方も、おばあちゃんたちがスポーツクラブにたくさんいらしているんですけど、孫がお世話になってますみたいなことは言われますので、短大で何かやっているということは結構知られているかなと思います。小さな町ですので、2万人を切っていますので、なのでそういう点では、小さいところだからこそというのはありません。

服部委員           そういった観点ですね。市民の方への公開ですとか進捗状況を伝えていくという、そういう観点の評価というものもあるのかなと思いますので、御検討いただければと思います。

田中会長           三輪さん、何か御意見とかないですか。感じたことでも何でもいいです。

三輪委員           今言われたのがちょっと分からなくて、市民の人にスポーツ推進

がどれだけ進んでいるかというのをお知らせするんですか。

服部委員

中学校の部活動の地域移行という問題がありますよと。多分そういう問題があるというのは御存じだと思うんですけども、今、例えば小金井市ではそれがどこまで話が進んでいるだろうかというごく一般的な疑問にどれだけ答えているのかなというところですね。多分、私自身もよく分からないんですよ。1回目の会議が開かれましたというのは聞いていますけれど、ちょっと中身もどんな話をされたか分かりませんし、市報でその辺の情報が何か出たのかなというのもちょっとよく分からないので、それはできたら伝えていただきたいなと思っているということですね。

三浦課長

ちょっとお二人のお話しのところだと思うんですけども、1回目の会議をやらせていただいて、それは今回この会議と同じような形で、会議のルールを決めるとか、正副委員長を決めるとか、そんなところで一応1回目は終わっていますので、先ほど具体的な議論はまだだというところはそういう点でございます。

今後についてですけども、他団体等々も含めて、今、部活動を地域移行する前に地域の連携をしようというのが第一フェーズだというふうに考えているんです。ですので、地域とどのような形で連携ができて、その先に地域移行があると思っていますので、つぶさに情報を出すというのはなかなか難しいんですけども、会議録であるとか、議論のどんなところはやってきたというところの資料関係については、ホームページが中心になると思いますけれども、なるべく市民の皆さんに分かりやすい形で周知したいなとは思っているところです。

ただし現実的には切り口がいっぱいあって、なかなか苦労しているのが本音の部分です。

服部委員

もう1回目の会議は公開されているんですか。

三浦課長

はい。1回目の会議は令和6年の3月にやってございますので、会議録はまだ確認が終わっていないので、確認が終わりましたら、ホームページのほうに出したいと思います。

田中会長            そのほか何か御質問や御意見等ございましたら、お願いいたします。感想でも何でもいい。

渡邊委員            感想でもいいんですか。

田中会長            はい、どうぞ。

渡邊委員            基本方針の1番とか2番の、週一回以上運動を実施している市民の割合とか、自身は健康であると感じる市民の割合が、私が思っているよりも多いなと感じました。

皆さん結構健康には自信のある人が多いのかなと思ってしまいました。感想なんですけれども、2,000人のうちのどのくらいの人たちが回答したかも分からないんですけれど、私の中では結構多いなというふうに感じました。

田中会長            このアンケートに答えた人の中でやっているということなので、委員の中からもいろいろ意見がありましたけれども、これはちょっと多いのではないのみたいなのもあったんですが、一応そのアンケートの取り方とかいろいろあると思うんですよね。やはりサンプルの抽出の仕方というのは大変なんだと思いますけれども、そういう中でこうなっていますということなので、本当の実態を表しているかということ、なかなか難しいところがあると思います。率直な御感想だと思います。

服部委員            多分高めなんでしょうね。

田中会長            そうですね。アンケートに答えた人は、運動していたり、運動要求が高い人がきちんと答えているというのものもあるかと思います。

週に1回70%の人が、ここにいたら7人。10人のうち7割の人が週1回はこんなやっているという市民像になるんですけど、これはなかなか大変だと思いますよ。

でも、そういうものを目指して、モチベーションを上げるような施策とか方向性を持ってやっていただきたいということです。よろしいでしょうか。

檀原委員

ちょっと細かいところで、先ほどの環境整備のことでちょっと一つあるんですが、基本方針3の運動・スポーツ環境の充実、先ほどと同じところですが、真ん中の安全・快適な公共スポーツ施設環境整備というところで、前半はこの施設が修繕をしたとか、修繕等の期間があったけれどもこうだったと書いてあるんですが、一番最後の文です。「ジュニアサッカーフェスティバルにおいて親子2名に限らず3名の組でも参加可とし」と書いてあるこの文なんですが、安全で快適に運動・スポーツができる場の充実という項目なんですが、その人数の単価を変えたことで参加しやすくなったと書いてあるので、これは何かもうちょっと前のページとかに書いてあるイベント、教室の開催の仕方の工夫だとか、子育て世代の運動・スポーツ活動の推進のところに関係する内容かなと思ったんです。

その話にまたつながってしまうんですけども、例えば市の施設についてはこうだったけれども、先ほど管轄がちょっと違うところだという話もあるんですが、その他まだ十分に改善が進んでいないところもちょっとあるみたいなことがあったほうが逆に、この内容にはいいのかなと思いました。

津田主任

ジュニアサッカーフェスティバルの記述が異質ということだったんですが、評価のポイントの一番上の黒ポツのところ、「利用者の利便性を高めるソフト面の充実」とあり、その視点からこういった記述を入れております。ハード面だけでなく、ソフト面での環境の充実という視点からの記述なのですが、確かに異質な印象があると思うので、検討します。

田中会長

これは全体にいいことが書いてあって、B評価になっているんですけども、前にも言ったんですが、悪いところとかをきっちり書いたり、檀原先生が言ったように、やはりこの環境整備のところ、学校とか公共施設の安全性というのを考えると、やっぱりそういうところを盛り込んで、修繕を行ったというのはいいいんですけども、そこは足りないよというんでCだとかやっても全然問題ないと思うんです。課長が困るかもしれないけれど、市民はそう思っていると思いますし、そういうものをここに載せていって、やはりこれだけ困っているんですよということを出すほうがいいと思いますね。そのための評価だと思うんです。

いいことばかり書いても何も進まないの、いいこと、やったことはきちんと載せて、でも、ここはやはり足りないよとか、ここをもっとやっていかないと危ないですよとか、もしけがをしたりなんかしたら、例えば床がささくれ立っていて、そこで大けがをしたりしたらもう大変ですよ。よくあるんですけども、壁にちゃんとマットとかやっていないでバスケットとかをやって、ぼんといっけがをしたりすると、その補償をしなくてはいけなくなりますよね。そっちのほうが大変だと思うので、やはりそういうものを、スポーツをやったがゆえにけがをしたではちょっと逆になってしまうので、やはり健康ということ考えた場合に、環境や施設のメンテナンスも含めて評価しながら、何とかいい方向に持っていけるように努力を要するというのも、Cでもいいと思うんです。でも、Cの中でもAに値するのがあると、そういう表現でもいいと思うんです。別に優等生的に答える必要はないと思いますので、やはり施設が手狭だとか、足りないとか、土地がないとか、テニスコートもないとか、何とかがないないない、ないないづくしはもう小金井市民は大体知っているんです。知っている中でどうやっていきたいのかとか、そういうのが見えたほうが皆さんは納得できるんじゃないかと思います。ぜひ忌憚ない意見をこの中に入れるように、次回。

服部委員

今、会長がおっしゃったのはまさにそうだと思います、特にこの評価でA、B、C、D、Eをつけるというのは今回初めてだと思いますね。違いますか。今回初めてやるので、あまりCをつけるのにちゅうちょすることはないと思うですよ。恥ずかしいとかではなくて、Cがいっぱいつきました。でも、これは来年の課題だということをしっかりつかんでおいて、来年もう1回同じ評価をします。Cと書いたものが幾つBになりましたかというのを見ていただいたら、非常によく分かると思います。AはAで、それをもっと伸ばしていく。だから、このA、B、C、D、Eが年度ごとにどう変わっていくのかというのを注意して見ていくということがやはり必要なんじゃないかなと思います。

田中会長

やはり皆さんの目は厳しいですね。

三浦課長

施設のお話になると、どうしても充足してほしいという声をいっ

ばいいいただくのは仕方がないと思っていますけれども、そこは行政なので、順番を決めて、できるところからやらざるを得ないというのが実態です。

ですので、厳しい御意見いただくのはありがたいところでありませうけれども、対応できる部分、対応できない部分があるというところは御理解いただきたいと思ひます。

田中会長

そうは言っても、やはり安全面からいかないといけないので、大きくしたり、新しいものを造るといのはちょっと難しいかなと思ひますが、その最低限のスポーツをやるための基準というか、そういうものはやはりつくっていかないとけないと思ひます。そのためには、やはりCでみんな困っているんだからというので、逆に予算要求もしやすくなるのではないかなと思ひます。困っている、危ない、もう1人ぐらい、本橋さんがけがしたら、市はどうしてもやらなくてはいけなくなると思ひますけれども、そういうふうなことになるように、ぜひよろしくお願ひいたします。

今回はこれくらいでよろしいでしょうか。大体このフォームでいって、中身の書き方とかについては、また数字が出てきたりしたときに皆さんから御意見をいただく。

太田委員

この評価も変わっていくんですね。

田中会長

そうですね。この評価は、今はただ入れてあるだけです。

三浦課長

はい。

田中会長

では、進捗確認の方法については終わりました、審議会のスケジュールについて、事務局のほうからお願いいたします。

津田主任

資料5を御覧ください。スポーツ推進審議会スケジュール（案）という資料です。

本日が4月17日、第1回になります。この後、7月、11月、1月頃に開催予定です。内容や詳細な日程については、今後お知らせいたします。

田中会長

一応1年に4回というスケジュールリングで、この予定では第2回と第3回に、今、話し合われました推進計画の進捗状況がどういふふうになっているかというのがあって、2回、3回ぐらいで、今年度はこのような感じだという報告書を提出する、確認をして出すといふふうになろうかと思えます。

4回目については、まだちょっと内容については未定ということですが、スケジュールリングについてはよろしいでしょうか。

では、これに従ってやってまいります。

続きまして、(7)令和6年度スポーツに係る予算についてということで、これも事務局のほうから説明をお願いいたします。

三浦課長

それでは、議題の(7)令和6年度スポーツに係る予算について、御説明を申し上げます。右上に資料6と書いてある表を御覧ください。本件は、令和6年第1回市議会定例会におきまして御議決いただきました内容でございます。

初めに、1、歳入のところでございます。スポーツ振興係が所掌する歳入につきましては、2,084万6,000円で、前年から29万3,000円の増となっております。過去の実績から見ますと、おおむね平年のおりかなと見込んでいるところがございます。

続きまして、2の歳出でございます。歳出につきましては、計3億7,279万6,000円、前年から6,681万3,000円の増となっております。増額の主な理由につきましては、市町村総合スポーツ大会の準備、学校部活動の地域連携の関係、総合体育館のエレベーター改修工事等を予定しているところがございます。

予算の概要について御説明をいたします。2、歳出の表のうち、上から三つ目でございます。スポーツ教室・各種大会に要する経費につきましては、217万円余りの増額となっております。この中に市町村総合スポーツ体育大会がございますが、当市は令和7年度、来年度でございますけれども、大会の幹事市となりますので、今年度から準備を進めてまいります。このため、会計年度任用職員の報酬等を新規計上したことなどから増額となっております。

その他社会体育事務等に要する経費につきましては、前年度より103万円余りの減額となっております。昨年の12月に開催されました自転車ロードレースイベントの周知や、ボランティア関係の経費を今年度につきましては計上していないことによるもので

ございます。

次に、学校部活動の地域連携に要する経費で、新たに立ち上げました検討委員会の委員報酬や、計画策定支援委託等、合計337万円余りを計上してございます。

その他、総合体育館維持管理に要する経費では6,131万円余りの増額となっておりますが、こちらにつきましては、総合体育館のエレベーター等改修工事を予定している関係によるものでございます。

雑駁でございますが、説明は以上でございます。

田中会長 皆様ほうから御質問等がありましたら、お名前を言った上で発言願います。

多分これとは違うと思うんですけども、学校の体育館とかの維持をしたり管理するためのお金は、学校のほうの部署がやっているということですよ。

三浦課長 小学校であれば小学校費、中学校であれば中学校費の中で予算計上させていただく形になります。

田中会長 分かりました。でも、市民も使っているんですよ。そうすると、こっちからも少しくとか、そういうのは考えられないんですか。

三浦課長 財政のほうの考え方になりますけれども、一応、学校の施設という位置づけになりますので、市民が使っている実態はもちろんそのとおりでございますが、予算区分とするとそういう形になります。

檀原委員 学童保育が学校の施設を使うときに予算の出るところが違うんですよ。同じ施設なのですけども、生涯学習課とか、学童が管轄している部署が入ると、そこから予算が出るんです。ですから、私も予算の仕組みは分からないんですけども、今、田中委員長からもあったんですが、本当に市民の稼働率がかなり高くて、コートも使って、体育館も使っているんで、予算の使い方学校の教育委員会予算では足りないところを、そういったところがうまくコラボしていただくといいなと思っています。さっき安全面もあったんですが、照明関係もすごく暗いところがありまして、子どもたちは昼間

は明るいですから、天気だと外の光がよく当たるんですが、夜中に使う施設なんかは相当暗くて、年配の方がスポーツをやるには相当危険だなというところも実は何校かあるんですね。そういったところはぜひ予算を使っていただけるといいなと思いました。

三浦課長 柔軟にと言われましても、そこは予算区分の関係なので、正直申し上げて難しいです。

事業費、学校で何か事業をやるために予算をつけるということはありません。それは当然あり得るんですけれども、今回の場合、修繕料とかそういうものについては、予算区分上、それは明確に難しいです。それは申し訳ないですけど、予算の関係なので、中途半端なことは申し上げられないものですから。

田中会長 分かりますけれども、やはりそういう事実があるということを伝えるとか、言っていくということが大切ではないかなと思いますね。ですから、確かに学校は学校ですよ、市の体育館は市の体育館でこっちから別途出ますよ。でも市民に学校開放しろと言われて学校が開放して一生懸命やるがゆえに、夜もやらなくてはいけなくなったり、それによってサーフェスが消耗したりしているという事実をやはりこう伝えて、学校のお金だけではもう足りないんだから、こちらからの予算とか、そういうものも何とかならんのかねという相談をぜひやっていただきたいなと思うんです。

課長が言うのは分かるんですけども、そこにぜひ穴を開けてください。

三浦課長 授業をやることによって、やらなくちゃいけない改修とかそういうことがあるのであれば、そこは主管部のほうにお伝えはしていきたいと思います。

田中会長 でも、今言ったように、実際に小学校や中学校で困っている、この事実に対して、ではどこがどう答えるの。

三浦課長 それは校長会等を通じて担当等にも上げていらっしゃいます。そこでも実現しないというので、私どものほうからも意見すべきという御主張でよろしいですか？

檀原委員 市民が使う施設でもあるのでということですよ。

三浦課長 なるほど、分かりました。しかるべきルートでお伝えさせていただきます。

田中会長 スポーツはなかなかお金がかかるんです。

三浦課長 よく分かります。私も何とかできるものなら何とかしたいです。

田中会長 つくって終わりでもないし。

三浦課長 そうですよ。

田中会長 だけど、これだけ皆さんが健康やそういうものに、あるいは健康とか、元気でとか、100歳まで働けとは言わないけれど、元気でやれというのであれば、やはり何かやっていかななくてはいけないし、また保険料も元気であればかからないわけだから、病院に行かなくても済むわけですから、何とか。

三浦課長 はい、頑張ります。

田中会長 誰も病気になりたいとは思っていないとは思いますがけれども、でもそういう環境が少しずつ整えば、そこへ行ってみようかなとか、やってみようかなとか、歩いてみようかなとか、いろいろあると思うんですよ。ぜひいろいろな方策でお願いいたします。

小金井市は意外と狭いからね。

これはよろしいですか。スポーツに係る予算について、言うだけですけれども。

続きまして、スポーツ団体に対する補助金交付について、お願いいたします。

三浦課長 それでは、議題の（８）スポーツ団体に対する補助金交付について、御説明をさせていただきます。

スポーツ団体に対する補助金の交付につきましては、スポーツ基

本法の第35条におきまして、地方公共団体が社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、教育委員会がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならないと定められてございまして、この規定に基づき、当審議会に御意見を求めるものでございます。

資料7を御覧ください。令和6年度スポーツ関係団体への補助金交付額になります。小金井市の補助金を交付しているスポーツ関係団体は2団体でございまして、一つは公益財団法人小金井市体育協会、34種目の連盟とスポーツ少年団が属している団体でございます。もう一つがNPO法人黄金井倶楽部で小金井市の総合型地域スポーツクラブでございます。

令和6年度の補助金交付額につきましては、1、公益財団法人小金井市体育協会の合計を御覧いただきますと1,207万6,052円、昨年から2万1,252円の増となっております。続きまして、2、NPO法人黄金井倶楽部の合計を御覧いただきますと275万8,204円、昨年から5,784円の増となっております。体育協会も黄金井倶楽部さんにつきましても、共に増額分は人件費の増額によるものでございます。

最下段3、1、2の合計につきましては、二つの団体の補助金の合計額でございますが、令和6年度は1,483万4,256円で、2万7,036円の増額となっております。なお、本金額につきましては、両団体ともに年度当初の交付決定額となりまして、確定額につきましては年度終了後に提出されます実績報告に基づき、額の確定を行わせていただきます。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

田中会長                    ありがとうございます。

服部委員                    この額はまだ確定ではないという認識でよろしいですか。

三浦課長                    小金井市の場合は概算交付をさせていただきますので、1回これで交付をさせていただきたいと考えてございます。年度が進んでいって最後に事業を締めたときに、残額等々があれば、それは精算していただくということになるかと思います。

服部委員           ありがとうございます。

田中会長           そのほか、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
ではないようですので、スポーツ関係団体に対する補助金交付と  
いうのは、こういうことでしたということで理解いたしました。

三浦課長           御承認ありがとうございます。

田中会長           議題はその他になりますけれども、何か皆様のほうからあります  
か。事務局のほうからは何かありますか。

三浦課長           特にございません。

田中会長           よろしいでしょうか。  
それでは、用意した議題は以上になりますけれども、皆様からな  
ければ、今日はこれで閉会といたします。どうもお疲れさまでした。

— 了 —